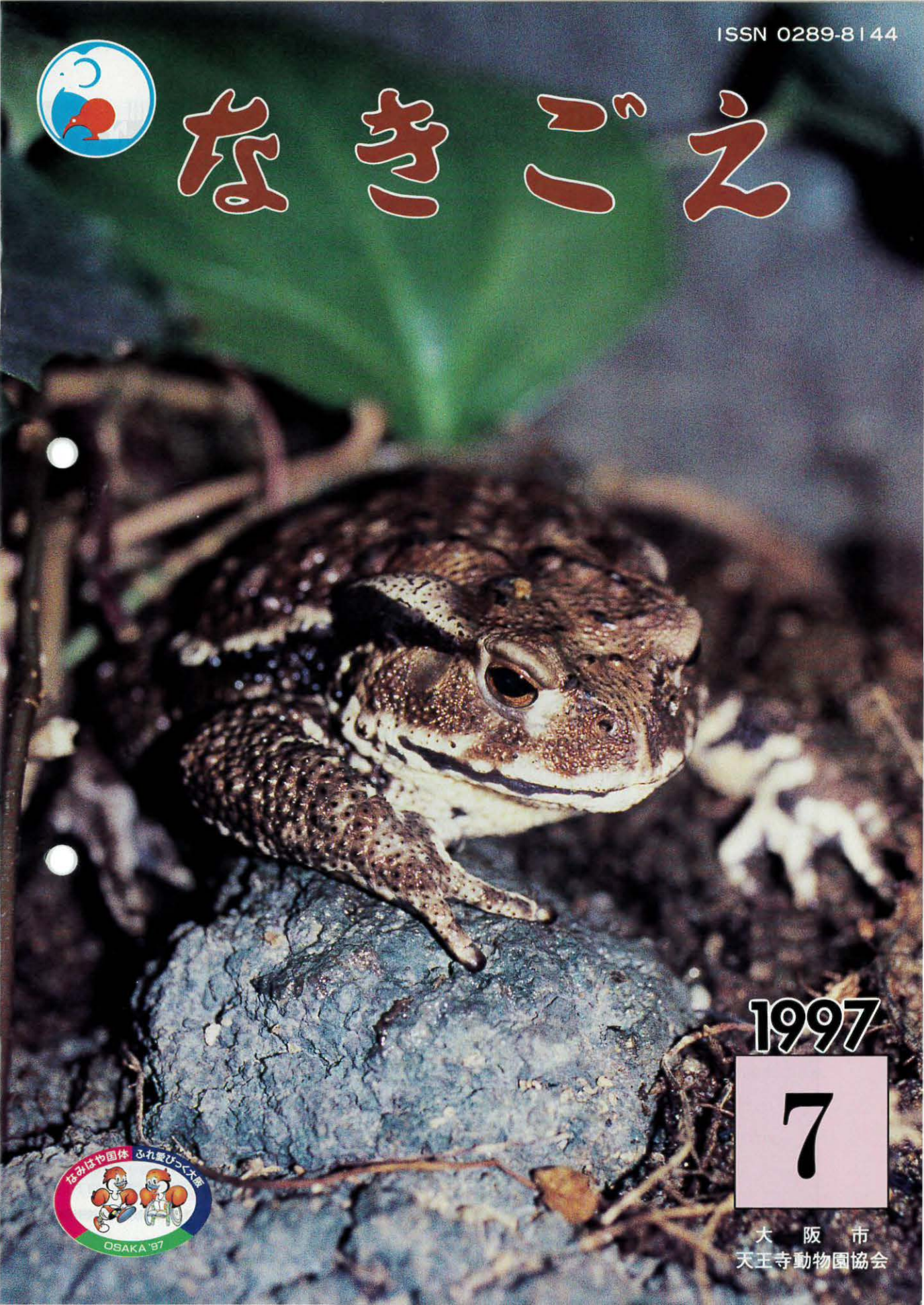




# なきごえ



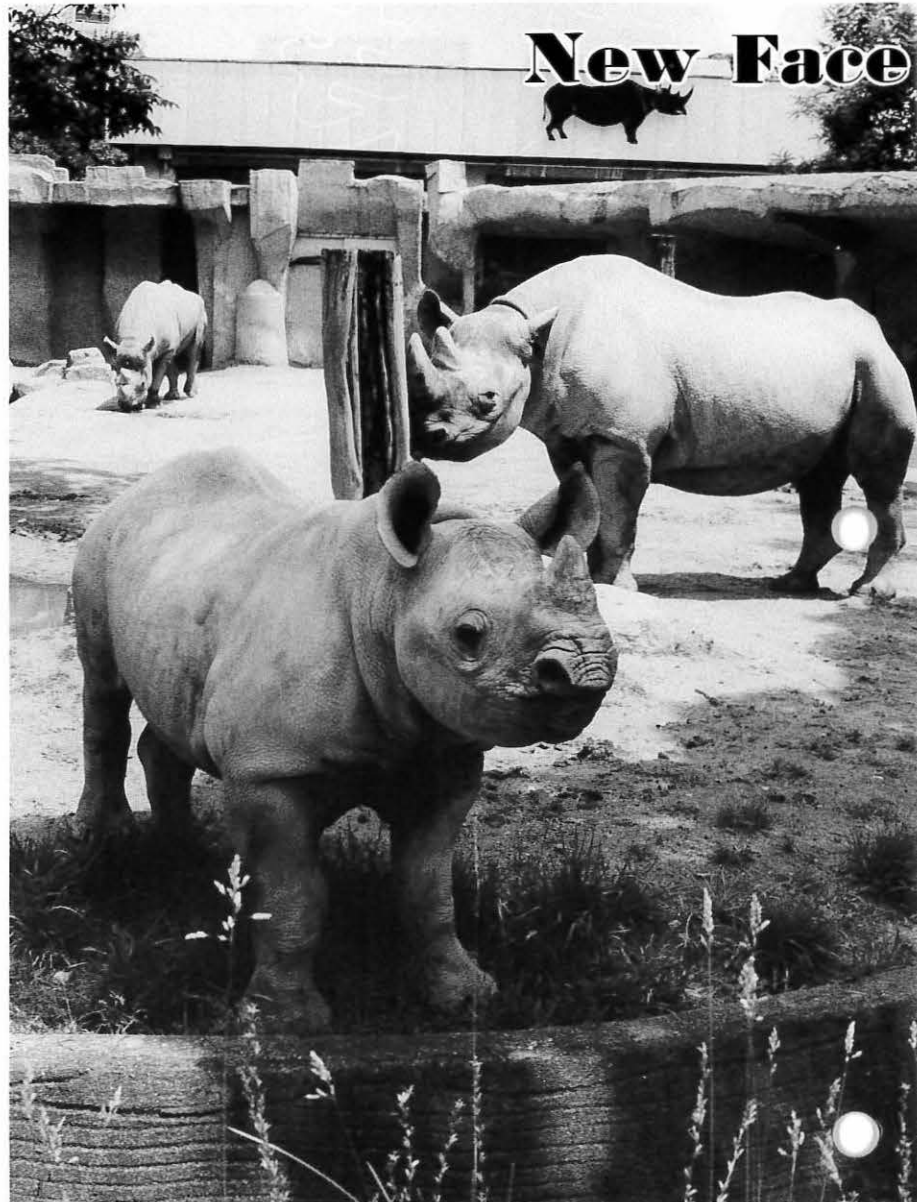
1997

7



大阪市  
天王寺動物園協会





(撮影：宮下 実)

- 2 — New Face 親子一緒になったクロサイ (宮下 実)
- 3 — 動物と私 (植田 安司)  
カバーウォッチング ニホンヒキガエル (宮下 実)
- 4 — 希少淡水魚オヤニラミを守る (酒井 達哉)
- 6 — 重油汚染の海鳥たちを救え! (竹田 正人)
- 8 — グラフZOO 只今営巣育雛中 (榎原 安昭)
- 10 — 動物何でも相談 (堀 眞佐子)
- 11 — ZOO DIARY (竹田 正人)

### カバーウォッチング

ニホンヒキガエル (通称ガマガエル)  
カエル目 ヒキガエル科  
*Bufo japonicus japonicus*

本州の近畿、山陰以西、四国、九州に分布するカエルで、人家の庭や草むら、竹藪などの倒木や落ち葉の下などにひそみミミズや昆虫などを捕らえて食べます。昨年、今年と2年連続して当園では繁殖に成功しています。(撮影：宮下 実)

## ||||| 動物と私 |||||

**私**は、25年前位からフラミンゴの絵を描き始め、現在も鳥の絵を描いています。

高校生の頃、美術展に出品するのに100号のキャンパス(163×130cm)に白サギを2羽描いたのが、「鳥の絵」の最初の作品でした。

鳥の思い出で印象に残っているのは、小学生の頃友人と二人で操車場に汽車の写生にいった時のことです。(現在のJR久宝寺駅のところ)

○ 周囲はほとんどが田んぼで、絵を描いていると一羽・二羽…と白い大きな鳥が舞い降りてきて二人がいるのも平気な様子で“えさ”をとっていました。二人で絵を描くことをやめてその鳥を追いかけしていたことです。こんな印象が鳥の絵を作品にするきっかけになっているような気がします。

**田**畑がどんどん少なくなってサギの姿は身近では見られなくなってきていました。

サギのスケッチを加茂川まで行ったりしてやっ

### 親子一緒になったクロサイ ウマ目 サイ科

○ 昨年、8月25日に誕生したクロサイのメスの赤ちゃん(愛称サト)は母親の愛情に育てられて順調に育ってきましたが、3月からは離れて暮らしていた父親とも屋外放飼場で一緒に飼育することにしました。両親に囲まれてサトは幸せで一杯。(中央がサト、右側は母親)



植田 安司 さん  
(八尾市立八尾中学校美術教諭)

ていたのですが、数年前位から動物園にフラミンゴを描きに行くと一緒に白サギ・青サギ・ササゴイたちがフラミンゴの池に同居している様子「チョットえさをいただきませーす」といったところが、自然がなくなりすぎたせいなのか野生の鳥たちの街への探訪が行なわれているのが、先日テレビで福井市の高層ビルをハヤブサが岩壁がわりにしている姿が写されていました。岩肌と違ってビルの壁は滑って少々ハヤブサもこまり顔の様子でありましたが、しっかり「獲物」をとらえてビルに降り立ちました。また門真市の会社内の松の樹に白サギが営巣したといったニュースも見かけました。

**そ**ういえば私の職場の池にもササゴイや青サギが池の魚をねらってか、噴水のシャワーをあびにか、時々やって来ます。キジバトも校舎の横に植えられた樹に巣をつくったりと、随分条件が悪いとは思いますが、鳥たちもうまく人間社会へ入り込み生きていってほしいものです。

ビルの谷間を飛びかうハヤブサ、水牛ではなく耕運機のまわりを飛び回るアマサギ、お庭拝借のキジバトや白サギ、これもなかなかの風景ではありますが…『やっぱり、でっかい自然がいいなー』という鳥の声が私には聞えてくるようです。

(うえだ やすじ)

# 希少淡水魚オヤニラミを守る

酒井達哉

兵庫・篠山町立  
村雲小学校教諭

## 〈絶滅の心配のある美しい淡水魚〉

早春の柔らかい光が降り注ぐ篠山川の岸辺で、子ども達の手によってオヤニラミの若魚が、雪解け水でややかさを増した川に放たれました。

「みんな、元気でね。卵をたくさん産んで、仲間を増やしてくれ。君達に会えて本当によかった。君達のことはおじいちゃん、おばあちゃんになっても、ずっと忘れないよ。」

生息地への100匹の放流という目標が達成された喜びと、卒業を控え、2年間にわたるオヤニラミの保護活動を終えるさみしさが混じり合います。子ども達は、今や愛しいとさえ思えるようになったオヤニラミが草陰に姿を消してしまうまで、じっと川面を見つめていました。

これは、本校でオヤニラミ保護活動を試行錯誤の中で開始した子ども達とオヤニラミとの別れの光景です。私はこの時、大好きなこの子ども達と近く別れねばならないことを自分に言い聞かせました。

オヤニラミとは環境庁の日本版レッドデータブックに希少種に指定され、絶滅が心配されているスズキ科の魚で、日本産淡水魚の中でも最も美しいものの一つと言われています。本校前を流れる篠山川を含む兵庫県の加古川水系では、かつてシンボルフィッシュとも言われていましたが、近年の河川改修や水質汚染、マニアの乱獲などで個体数を著しく減らしています。

## 〈オヤニラミに夢中の日々〉

4年前の春に、篠山川産オヤニラ



オヤニラミ

ミの産卵・孵化に成功して以来、生息地へ放流を目指して、子ども達はオヤニラミの世話に夢中になりました。美しい模様や人懐っこいユニークな生態に興味をひかれただけでなく、篠山川のオヤニラミは自分たちが守らなければならないという使命感に似たものが子ども達の意欲をより高めたのではないかと思います。子ども達は餌とり責任係や新聞係など一人一役の係を決めて、全員で飼育活動に取り組みました。

その中で一番の問題は毎日の生き餌の確保でした。稚魚は生きて動く餌しか食べないからです。朝夕、子どもたちは稚魚の成長に合わせ、ミジンコ、ユスリカなどを学校近くの水田や川で採集して与えました。



初夏の水田でのミジンコとり

猛暑で水田が干上がり、ミジンコがいなくなったため、水たまりのボウフラを懸命に集めたことや、冬の朝、雪の降る冷たい川に入って、しびれる手で水生昆虫をとったことなど、四季を通じて多くの思い出が胸に刻まれました。

子ども達は、目標とする生息地への放流の日を「みんなの夢がかなう日」と名付け、飼育活動の合い言葉にしました。私は小さな魚を守るために夢中になれる心優しい子ども達と、一つの目標に向かえることを何よりも幸せに思いました。

2年間で子ども達は約200匹のオヤニラミを育て上げました。そのうちの約100匹は記録的な猛暑による渇水で死んだり、マニアに乱獲されたりして、減った個体数を補うため、生息地の川などに放流しました。その際、篠山川の生態系を乱さないように、専門家の助言を得て慎重に放流匹数や場所を決めました。また、加古川水系のオヤニラミを研究する機関などにも、約40匹を提供しました。

「種を守る」という大きなテーマに挑戦する子ども達の主体的な活動姿勢は、全国環境教育賞の受賞につながりました。

## 〈オヤニラミが住み続けられる篠山川に〉

しかし、2年目の飼育活動が軌道に乗り始めた頃、オヤニラミの生息地に河川改修の予定があることが分かりました。従来通りの河川改修工事が行われると、オヤニラミは篠山川から姿を消してしまいます。子ども達の動揺は大きかったのですが、何とか前向きに考えようと思いました。

「オヤニラミが住み続けられる河川改修の方法を私たちに考えよう。そして、県にお願いしてみようよ。」話し合いの末、新たな活動の方向が決まりました。

そこで、まず、地域の方に河川改修前後では何がどう変わったかの聞き取り調査をし、河川改修の必要性や工事により失われたものをはっきりさせました。そして、前年度から交流のあるオヤニラミの研究者や全国の水族館に河川改修の工夫を尋ねる手紙を書き、多くの情報や資料を送っていただきました。そして、卒業近い昨年2月に、オヤニラミ保護活動の総決算として、作文や理科、そして、課外の時間なども利用して、それらを「意見書」にまとめ、県に提出しました。



意見書が完成した日の子ども達

子ども達が中学校に進み、半年ほどか過ぎた昨秋10月、兵庫県議会の本会議で、子ども達の提出した意見書にふれて、土木部長さんより、「村雲小学校前の篠山川の改修については、村雲小学校生の意見を参考にしながら、オヤニラミが住める川となるよう、えさ、すみか、産卵場所を確保するなど、生態系に配慮した川づくりを地元の関係者と協議しながら進める。」という旨のお言葉をいただきました。現在、専門家を交えて、オヤニラミの住み続けることができる河川改修の方法が行政の方によって討議されています。

人間が住み着く遙か昔から住んでいた、物言えぬオヤニラミのような小さな生き物たち。それを生かすも殺すも、私たち人間次第です。

人間が将来にわたって、この地球上に生きながらえていくためには、この子どもたちのように他の生き物も大切にしようとする気持ちを行動に移していけることが重要な条件になると思います。

## 〈受け継がれる思い〉

子供たちは卒業に際し、村雲小学校に20匹のオヤニラミを残してくれました。そのオヤニラミが、毎年、玄関の水槽で1,000個近くの卵を産んでいます。後輩たちは毎日水槽をのぞき込み、不思議な産卵の形態や卵の変化の様子に興味深そうに観察しています。そして、その後輩たちの手で稚魚のえさとなるボウフラが続々と学校に持ち込まれているのです。卒業した子どもたちの思いは着実に後輩たちに受け継がれています。

保護活動3年目の昨年度は神戸市立須磨海浜水族園で後輩達が育てた20匹のオヤニラミが展示されたり、県内の水上郡青垣町のいきものふれあいの里に繁殖用に贈った20匹のオヤニラミが2,000個の卵を産んだり、後輩たちも先輩達に負けず、地道な活動を実らせています。

特に、昨年度からは、児童玄関に大小10個の水槽を置き、「むらくもスーパーアクアリウム」と名付けたふるさと水族館を設置しました。そこでは、1年生から6年生までの全校生が、オヤニラミだけでなく、ゲンゴロウやホトケドジョウ、カスミサンショウウオなど約40種類の地域の貴重な生き物を飼育、観察しています。



むらくもスーパーアクアリウム

今、本校前の水田では、プランクトンネットを手にした子ども達が歓声をあげながら、魚たちの餌となるミジンコを集めています。この光景は村雲小学校の初夏の風物詩となりました。

新緑が川面に映える生息地の川でも、放流したオヤニラミたちが水槽と同じように卵をたくさん産んで、子ども達の願い通り、仲間を増やしていることでしょう。

(さかい たつや)



# 重油汚染の海鳥たちを救え!

1月2日未明、島根県沖でロシア船籍タンカー「ナホトカ号」が沈没し、大量の重油が流出しました。この報道を見た時、あの湾岸戦争の記憶がよみがえり、重油にまみれ、もがき苦しんでいる海鳥たちの姿が目につきました。

**海**鳥たちは羽毛が水をはじくことによって体温を保っています。しかし、重油は羽毛の奥まで侵入し水をはじく能力を奪ってしまいます。そのため、海鳥たちは浮いていることができず溺死したり、皮膚に直接接触する真冬の海水が彼らの体温を奪って衰弱死するのです。なかには重油によって窒息死するものもいるでしょう。この時期の日本海沿岸は、北極圏などで繁殖する渡り鳥たちの越冬場所としても賑わっているため、被害はかなり大きくなると心配していました。

案の定、日を追って保護される海鳥が増えていくと新聞紙面やテレビで報道されるようになりました。また、湾岸戦争の時、現地に飛んで重油汚染海鳥を救護した経験のある獣医師がいち早く現地に駆けつけ、地元の開業獣医師や県勤務獣医師とともに治療を開始したことも知りました。我々動物園で働く獣医師や飼育係員も、日頃動物園で展示している鳥や保護で持ち込まれる野鳥の治療・飼育で培った技術を活かして、海鳥の救護活動しようという情報を収集し、準備を進めていました。

1月13日に、救護活動参加のため既に福井県入りしていた神戸市立王子動物園の獣医師から、「現地では開業獣医師や県勤務獣医師が仕事のかたわらで海鳥の治療やリハビリを行っているため、人数の絶対数が足りない。海鳥の保定や給餌に慣れた人も少なく、人手が必要だ。」との電話がありました。

当然、ボランティアとして参加している人達も仕事などで長期間滞在している訳にはいきません。電話を受けた私は、当面の人員体制を整えるため近畿地方の動物園や水族館に電話をかけました。既に海鳥を受け入れているところや被害を受けているところもあり、人数が集まるかどうか不安で

したが、ほとんどの人達が、「調整でき次第、連絡してや。いつでもいくで。」と快い返事をくれました。私は、約3日交代で少なくとも1日2人は現地に滞在し活動できるよう調整し、自らも1月19日の早朝、当園の飼育係員1名とともに福井県に向かいました。

福井県での海鳥保護収容施設はなんと開業動物病院でした。通常、野生動物の保護・管理は都道府県が行うよう法令によって定められています。しかし、実際は野生動物を治療したり、収容できる施設を持っている都道府県はほとんどありません。この開業獣医師もボランティア活動として海鳥の治療・リハビリをするだけでなく、病院を保護収容施設として、さらに、ボランティアの宿泊場所として提供しておられました。

**動**物病院に到着して、まずしたことは引き継ぎです。先発隊として3日前から活動していた当園と姫路セントラルパークの獣医師2名から、我々の主な仕事である重油にまみれた海鳥の洗浄、治療、給餌、リハビリ方法や現在収容しているオオハム、ウミネコ、アカエリカツブリ、ウミズメなどの状態などについてレクチャーしてもらいました。

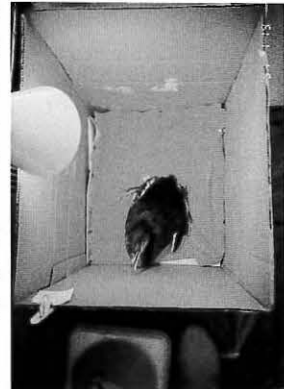
仕事のなかでも大変なのが鳥の洗浄です。洗浄は、地元の開業獣医師

と県の勤務獣医師を中心に行われるので、皆の仕事の終わった夕方から始まります。ベビーバスに適温に調整したお湯を入れ、台所用中性洗剤を適度な濃度に溶かし、重油で汚れた海鳥を浸けて洗います。鳥は羽が命。羽を傷めないように、染みついた油を洗い出すため手で水流を起こしながら、1枚1枚の羽をこすらずつまむように丁寧に洗いま



洗浄中のウミウ

す。そして、羽と皮膚と洗浄後のお湯がきれいになるまで繰り返し洗浄した後、シャワーで羽に残った洗剤を洗い流します。このシャワー洗浄を怠ると、残った洗剤が羽の水をはじくために鳥自身が分泌する油まで中和し、鳥は浮くことができません。その後、羽に残った水分をペーパータオルで拭き取り、極力ぬるくて弱いヘアドライヤーの風でかわかします。そして、新聞とぼろ布を敷いた段ボール箱に鳥を入れ、上からランプで保温します。この段ボール箱は1羽につき1箱設置し、糞尿で汚れるたびに交換します。多い個体では日に7~8回も交換することもあり、地元の愛鳥家など一般の人達の協力が作業をスムーズにしていました。



保温中のアカエリカツブリ

洗浄は鳥たちにとってかなりの精神的、体力的な負担となるため、保護されてきた鳥の状態を見て洗浄する時期を判断しなければなりません。鳥が衰弱している場合は、洗浄する前に体力を回復させてやる必要があります。消化管内の重油を排泄させるためリンゲル液をカテーテルで強制的に飲ませ、同時に脱水を防ぐための補液と感染症予防のための抗生物質注射を行います。そして、繰り返し給餌を行って体力を回復させます。

**給**餌は1日3回、朝8時頃と昼1時過ぎ、夕方6時頃に行います。鳥が元気な場合は、リハビリを兼ねてシンクに張った水に入れて給餌します。元気な鳥は泳ぎながら、嘴の先にもっていったイワシやワカサギを食べたり、水面や水中へ入れた餌を食べます。自分で食べない鳥には、ミキサー



(カテーテルを使った)流動食の強制給餌

どろにし、カテーテルで直接胃のなかに入れてやります。

治療や給餌の時に重要なのが保定です。捕まえられるという恐怖は鳥たちにとって非常なストレスになりますし、この恐怖から、衰弱しきっているにもかかわらず、つづく、噛むといった行動にでます。治療する側が安全で、鳥たちにできるだけストレスを与えないように治療、給餌ができるかは、この保定にかかっています。

**リ**ハビリは保護した鳥たちを自然復帰させる最終段階です。リハビリの過程で鳥を水に入れることは、運動能力を回復させるとともに、羽繕い行動を誘起する意味が必要です。水鳥は羽繕いによって尾のつけ根にある



給餌とリハビリ

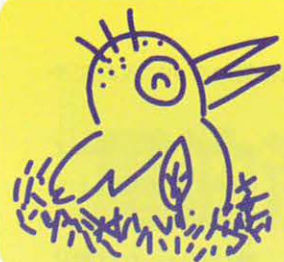
脂腺からでる脂を全身の羽に塗り、撥水力を獲得しているからです。このようにリハビリを行いながら、鳥が自分で餌を食べるか、身体の浮き具合はどうかを観察し、自然復帰できるかどうかを判断します。

このような仕事に追われた3日間でした。私が滞在した頃は保護されてくる海鳥の数も日に一、二羽とやや落ちつき、元気を回復し別の広い収容施設に移動させた鳥もでてきました。しかし、懸命の治療と看護にもかかわらず極度の衰弱のため、死んでしまう鳥たちや羽の状態が悪く未だに野生復帰できない鳥たちもいました。最終日、後ろ髪を引かれる思いで福井をあとにしました。

**自**自然界は生物の絶妙なバランスの上に成り立っています。そして、人はその自然の恵みに支えられて生きています。今回のボランティア活動を通じて、あらためて自然の大切さ命の大切さを痛感しました。また、人間の優しさや協力し合うことの重要性も肌身で感じました。今回のような事故が二度と起こらないことを祈るとともに、もしも同様の事故が起こればいち早く対応できるよう心掛けるつもりです。

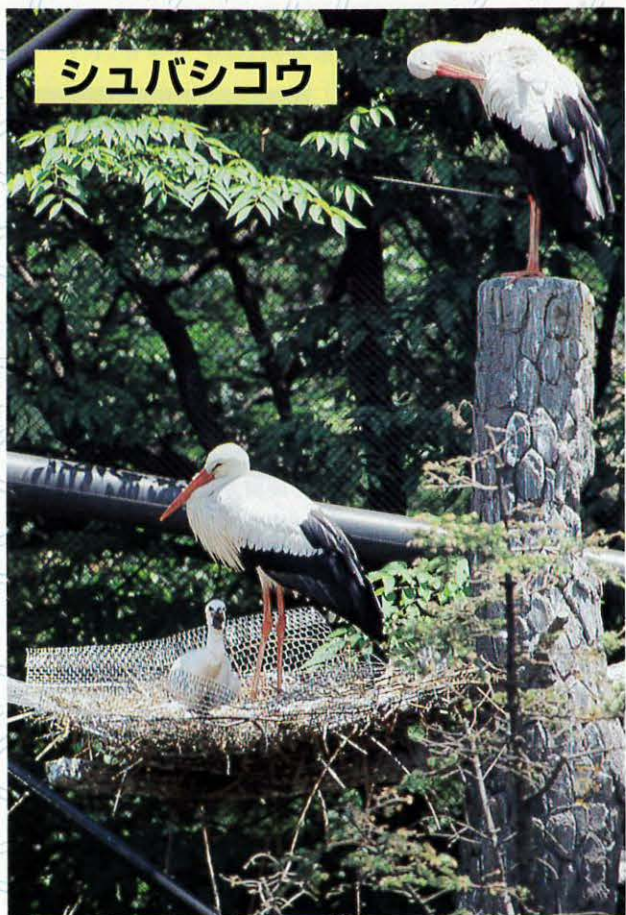
(飼育課獣医師：竹田 正人)





# ただいま 只今 営巣育雛中

今年も「鳥の楽園」では、多くの鳥たちが巣を作り、ヒナを育てています。今回はそんな鳥たちの巣を紹介しましょう。(撮影：榊原安昭)



シュバシコウ



アオサギ

シュバシコウの目をかすめて、巣作りをするのは、サギとしては大型のこの鳥。シュバシコウの巣の下にがんばって巣を作っています。

「鳥の楽園」のメインは何といってもこの鳥。ヨーロッパでは屋根の上や大きな木のでっぺんに巣を作りますが、動物園ではコンクリートで作った木の上の巣台に巣を作ります。

上の方の山にある木の上ではこの鳥の巣でいっぱい。小さな体に似合わず、がんばって巣を作っています。



コサギ



オシドリ

オシドリは誰でも知っている美しいカモ。たいていのカモ類は地上に巣を作りますが、このカモは樹洞に巣を作ります。動物園では巣箱に卵を産みます。



## 番外編

大きなケージの上では野生のアオサギが巣を作っています。この鳥は集団で巣を作ります。5、6年前に巣を作りだしてから巣をつがいの数は毎年増え、最近では25以上のつがいが巣を作っています。



大きな巣の上に巣を作っているのはシュバシコウ。でもこの巣を作ったのはもっと小さなシュモクドリ(下の写真)というアフリカに住むコウノトリの仲間の鳥です。野生ではこの鳥の巣の上にペリカンが巣を作ります。



シュバシコウ

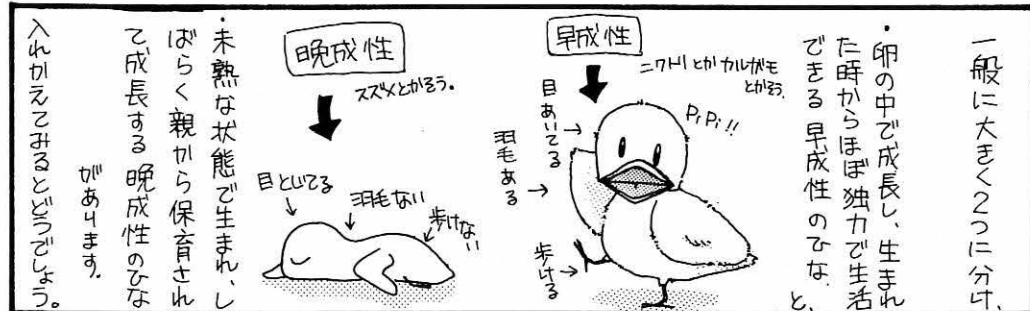


シュモクドリ



# 動物何でも相談。

Q 鳥は生れてすぐ羽毛のあるものとないものがあり、何が原因か？ (堺市: STさん)



通常早成性ひよ → 遅成性ひよの時



通常遅成性(小さい)卵 → 早成性(大きい)卵の時



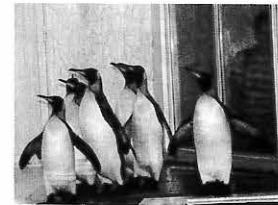
...このように、親、ひよ共に危険を回避しにくくする。自然界の動物は子孫を確実に残していける方法を選択しているんだね。

協力: K.T, A.H 作画: M.H

5/12. 伝染病予防のためヒョウ、ジャガー、ピューマにワクチンを接種しました。カヤネズミ12頭を富山市ファミリーパークに贈りました。

5月15日 気温の上昇にともな

って、寒い地域に住んでいるオウサマペンギンとイワトビペンギン、マカロニペンギンを屋内の冷房展示室に移動させました。



5/22. 当園で初めてナベツルが産卵しました。

5月23日 今季最初のニホンジカが生ま

れました。1日経過すると捕まえるのが難しくなるので、当日捕獲して性別チェック、個体識別用の耳標装着、体重測定、ワクチン接種を同時に行いました。



5/25. 保護、治療していたアオサギとスズメが元気になったので、自然復帰させました。

5/27. ドリルが交尾をしました。

5/30. 4月26日に産卵し、タンチョウに抱かせていたソデグロツルの卵が腐敗のため破卵しました。検査の結果、無精卵でした。

6月1日 ヒツジの毛刈りを行

いました。これは衣更えのシーズンに合わせて毎年行っているものです。終わったあとのヒツジたちはとても涼しそうです。



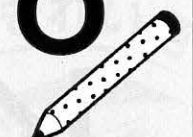
6/2. 昨年6月生まれのアメリカバクの子を伊豆シャボテン公園に贈りました。

6/6. ワシントン条約違反で緊急保護されたインドホシガメ50頭を受け入れました。これは関西国際空港で摘発された330頭の一部で、数園館で飼育を分担しました。

6月7日 爬虫類生態館「アイファー」で飼育展

今月もおもしろ情報満載

## ZOO DIARY



示中のボアコンストリクターが繁殖しました。通常のヘビは産卵・ふ化の形で繁殖しますが、この種は卵胎生(体内でふ化、産出)です。合計10頭の赤ちゃんが生まれ、隔離飼育を始めました。



アムールトラが2頭生まれました。

6月10日 第11次上海市動物

交流団が来園され、動物贈呈式を行いました。



今回上海動物園から天王寺動物園に贈呈されたのは、ヨウスコウワニ4頭とゴジャコウネコ1ペアでした。贈呈式のあと技術交流会も行いました。

6/11. マクジャクとフンボルトペンギン各1羽がふ化しました。

6/13. カニクイザルが1頭生まれ、タンザニアアカノドシャコが1羽ふ化しました。

6/15. アミメキリン1頭とマレージャコウネコ5頭が生まれました。

### お知らせ

- 動物園のおじさんのお話  
「動物なんでも相談」  
日時: 8月17日(日) 午後1時~  
場所: レクチャールーム
- 天王寺公園・動物園写真コンクール  
応募〆切 8月31日

愛ある暮らし、応援します。

# Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



## 生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？動物園での世話の仕方は？仲間はずれ？など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

くらしかいかたシリーズ<既刊本>  
B5変型判・オールカラー

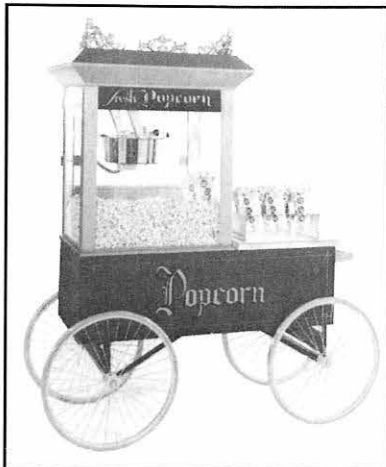
### むしくらしかいかた

野山でみかける身近な昆虫たち  
250種を紹介。

### ちいさないきものくらしかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320  
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表



## マスターのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他  
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30  
TEL (06) 865-0165

新・きれいな色

# FUJICOLOR SUPER G ACE 400

新・きれいな色



カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
阪急三番街店 ☎372-5031

狼  
その生態と歴史



平岩米吉著

ニホンオオカミの生態と歴史の集大成

## 狼 — その生態と歴史 —

平岩米吉[著] A5判 308頁 定価2,678円(税込)

ニホンオオカミは今もどこかで生きのびているのか——。狼と生活をともにした実体験を基盤に、数十年にわたり収集した正確な資料と生態学の眼をもって、ニホンオオカミの特徴や大きさ、性質などを分析。今も根強く残っている残存説を検証するとともに、絶滅へといたる歴史をも詳述する「ニホンオオカミの正史」。

築地書館 〒104 東京都中央区築地2-10-12 TEL 03-3542-3731 FAX 03-3541-5799 振替 00110-5-19057  
●ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。(直接郵送時の送料は一律400円です。)

新作  
貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」  
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)  
好評発売中 ¥800(50度用)

## 天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



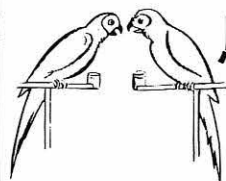
オールカラー  
**500円** 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201





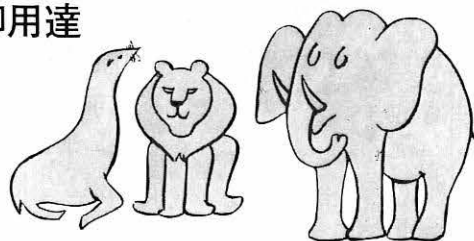
近畿 コカ・コーラ ボトリング 株式会社  
 KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社)  
 Coca-Cola & Coke は The Coca-Cola Company の登録商標です



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

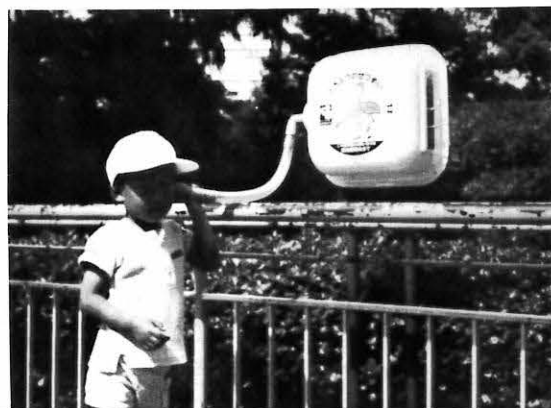


## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号  
 飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話 (078) 221-8195(代)

たのしい動物のお話は、  
 ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
 30数カ所にあります

関西特機株式会社  
 電話 06-762-2333  
 1回 30円

動物園内での  
 お食事、  
 ご休憩は



動物園内.....

## 中央売店

TEL 06-771-0973

お食事・飲み物・おみやげ 動物園内  
 南園売店 TEL 06-771-7110



..... LOTTE .....

みんな大好き

〈チョコレート〉

〈ストロベリー〉





# 雪印 つぶよみ フルーツ ヨーグルト



●ライチミックス

●ストロベリー

●アップル

●ピーチ

●フルーツミックス

おいしさは、産地のよさです。

台湾のライチ、フィリピンのナタ・デ・ココとパイナップル  
 国産の女峰、オレゴンの特産、中南米のチャンドラー、季節の旬を追って  
 日本の富士、中国・韓国の国光。それぞれおいしい季節の  
 桃といえば中国です。そして韓国。旬に一括収穫した白桃で  
 アプリコット、メロン、アップル、パイナップル、ミカン。果物狂の

●ライチミックス  
 ●ストロベリー  
 ●アップル  
 ●ピーチ  
 ●フルーツミックス

お待たせ  
**新発売**

希望小売価格・税抜 **各100円**



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

**久竹娛樂株式会社**  
 TEL(06)541-3938(代)



一日  
 愉快地  
 たのしめる

なきごえ 1997年7月10日発行(毎月10日発行)第33巻 第7号 (通巻383号)

編集 / 大阪市天王寺動物園事務所

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 伊東重朗

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 00930-2-37823

編集委員 [ 井坂 進/馬詰好文/増野悦敏/中川哲男/藤田四郎/長谷川敏昭/落合正彦/宮下 実/榎原安昭/森本委利/高橋雅之/市川久雄  
 長谷川貞雄/中上正幸/佐藤紀子/萩原祐二/竹田正人/高見一利/大野尊信/野口秀高/早川 篤/村上勇一/西村慶太/山元貞幸 ]